

[View this email in your browser](#)



新年あけましておめでとうございます。KeMCoでは、1月10日（火）より「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地 特別企画 鏡花のお気に入りたち」を開催しております。...

KeMCoの近況

「大山エンリコイサム Altered Dimension」が閉幕しました

「大山エンリコイサム Altered Dimension」展が、2022年12月16日（金）をもって閉幕致しました。期間中には1000名を超える来場者があり、関連企画として行ったトーク・イベントも好評をいただきました。...

【開催中】KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地 特別企画 鏡花のお気に入りたち



『かちかちやま』Y. Nishinomiya発行、ちりめん本、1886年、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）  
新たな年の挨拶にはどんな言葉やイメージを添えるでしょうか。お祝いの言葉、近況報告、親しい人の写真...「干支」も馴染み深いものです。2023年の干支は「卯」。うさぎは「不思議の国のアリス」や「ウサギと亀」などの物語でおなじみです。...

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地 特別企画 鏡花のお気に入りたち  
会期 | 2023年1月10日（火）～2月9日（木）（土日休館）  
1月21日（土）、2月4日（土）は特別開館、1月16日（月）、1月30日（月）は臨時休館  
開館時間 | 11:00～18:00  
会場 | 慶應義塾ミュージアム・commons展示室（三田キャンパス東別館）  
対象 | どなたでもご覧いただけます  
費用 | 無料（事前予約不要）  
主な出品作品 | 「かちかちやま」Y. Nishinomiya発行、1886年 『寓話』ラ・フォンテーヌ著、1668年 《月宮文八綾鏡》唐時代（7世紀） 《薄兎蒔絵鏡箱》江戸時代（17世紀） 漢詩「無所思還有所思…」福澤諭吉筆、1883年 『閑暇のための動物奇態図譜』マイアー著、1752年 『ラテン語時禱書』15世紀後半 《クロマトポイエマ》飯田善国・西脇順三郎、1972年 《土方巽と日本人ー肉体の叛乱》馬鹿王の行列 写真、羽永光利、1968年 《水晶の兎》 《大兎の手炙り》 《泉鏡花のペンケース》 『鏡花選集』画稿、小村雪岱筆、1915年

KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地

コラボレーション企画を行います



KeMCo×八角塔 鏡花の葉っぱビスケット

「KeMCo新春展2023 うさぎの潜む空き地 特別企画 鏡花のお気に入りたち」関連イベントとして、泉鏡花記念館にご協力いただき、トークイベントを開催致します。ほかに、カフェでコラボレーションメニューを提供致します。

- 1. トーク・イベント「泉鏡花とたそがれの味Ⅰ：鏡花とうさぎと三田の文人たちと」  
2023年は泉鏡花の生誕150年です。KeMCo新春展2023「うさぎの潜む空き地 特別企画 鏡花のお気に入りたち」関連企画として、泉鏡花記念館にご協力いただき、鏡花と三田文学の作家たちについてのトーク・イベントを開催します。  
登壇者：六倉玉日（泉鏡花記念館 学芸員）、ピーター・バナード（慶應義塾大学文学部 助教）  
日時：2023年2月4日（土）13:30-15:00 [無料、事前予約制]  
会場：慶應義塾大学三田キャンパス G-Lab（東館6階）  
予約は[こちら](#)
- 2. KeMCo×八角塔 鏡花の葉っぱビスケット  
旧図書館1階の「カフェ八角塔」では、展覧会とのコラボレーションメニューとしてKeMCo×八角塔 鏡花の葉っぱビスケットを期間限定で提供します。展覧会で出品している、泉鏡花遺品の草双紙に挟まれていた葉っぱにちなんだビスケットを、書物をイメージした紙に挟んで提供します。  
カフェ八角塔（三田キャンパス内 旧図書館1階）  
営業時間：10:00-18:00（L.O.17:30）日曜/祝日/大学指定休有  
販売期間：2023年1月10日（火）～2月9日（木）

展示室より、推しモノ #14



歌川芳艶「坂田快童丸」、万延元年（1860）9月改印、ボン浮世絵コレクション、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）

源頼光の四天王の一人、坂田金時は、幼名を金太郎といい、歌舞伎や浄瑠璃の山姥物では、快（怪）童丸の名で登場します。山姥が見守るなか、快童丸は、動物たちと相撲を取っています。動物たちは、列になって快童丸に対峙していますが、後ろから二番目には、うさぎもスタンバイ。うさぎは、月と波濤という、しばしばうさぎと関連づけられるモチーフを藍で染め抜いた羽織を着ています。快童丸は玩具模様、山姥はまつぼっくりと銀杏など、色鮮やかな彩色が、物語の世界を一層楽しげに彩ります。この鮮やかさ、ぜひ会場でご覧いただきたいです。  
また、うさぎと、月や波濤が、組み合わせられる所以は、綿々と積み重ねられた遺物や美術工芸品、文学作品などの内にあるでしょう。「うさぎの潜む空き地」展に集められた作品にも、そのヒントがあるかもしれません。

松谷 芙美（KeMCo専任講師）

空き地

明けましておめでとうございます。兎年が明けました。昨年の虎に続き、干支にちなんだ展覧会「うさぎの潜む空き地」展が始まりました。今年特別企画「鏡花のお気に入りたち」として、向かい干支であるうさぎを愛でた小説家・泉鏡花のコレクションを合わせて展示しています。古今東西の様々なウサギが集う展示は、KeMCoならではのユニークな寄り合いです。ウサギという共通項のみで、普通であったらば、隣り合わないモノが出ています。思わぬ出会いが創出されることが空き地の楽しみでもありです。そして、空き地に大切なのは遊び心。遊び心が空き地を創造的な場になります。遊び心を失ったらいけません。空き地はただのうづろな空間になってしまうかもしれません。真剣に遊び、楽しむとき、創造的な心持が生まれ、空き地はワクワクした場所となるでしょう。さて、どんなウサギに出会えるのでしょうか？ウサギ探しに、KeMCo=空き地に、ぜひ遊びにおいでください。  
今年もよろしく願いいたします。

渡部 葉子（KeMCo副機構長）

お知らせ

三田でご覧いただける展示  
「アート・アーカイヴ資料展XXIV：西脇順三郎没後40年記念展「フローラの旅」」  
1月16日（月）-3月17日（金）  
主催 | 慶應義塾大学アート・センター  
会場 | 慶應義塾大学アート・スペース  
「慶應義塾福澤研究センター新収資料展2023」  
1月10日（月）-2月4日（土）[予約推奨]  
主催・会場 | 福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館（慶應義塾図書館旧館2階）

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております  
KeMCo Voiceやミュージアム・commonsへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。  
> [ご意見・ご感想はこちら](#)

今回のKeMCo Voiceは2023年2月に配信予定です。  
[過去のニュースメールはこちら](#)

